

令和4年5月31日

地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

施設名：グループホーム・ひなたぼっこえびすヶ丘

施設種類：認知症対応型共同生活介護

5月の運営推進会議は、コロナウイルス感染拡大防止の為、事前にホームの状況等を書面で送り、後日皆さんから意見を聞き運営推進会議開催に変えることにした。

【入居者状況】

入居者9名（女性 9名 男性 0名）

平均年齢 91歳 平均介護度 2.3

【活動状況】

- ・ 散歩・日光浴・ドライブ・体操
- ・ 計算ドリル・新聞折り・書写・パズル・雑巾縫い・
- ・ 塗り絵・ちぎり絵・折り紙・おはぎ作り・たこ焼き作り
- ・ 行事～日原・美都ひだまりパークへ桜ドライブ
空港公園つつじドライブ

【事故・ヒヤリハット・苦情】

- ・ 事故 7件（転倒・入居者同士のトラブル・小指骨折・爪負傷）
- ・ ヒヤリハット 5件（転倒の危険・義歯入れ忘れ・異食）

【その他】

*身体拘束適正委員会

- ・ 身体拘束等はなし

*研修

- ・ 虐待防止研修（ZOOM）

職員1名参加する。今回の研修を参考にし、職場でも虐待防止の勉強会を開催する予定。

*看取りを行う

- 老衰により、ご家族の希望や主治医の協力もあり、ホームでの看取りを行う。
- コロナ禍の為、面会や付き添いという面では制限したり、状況によって解除したりしながら行った。
- 家族の方より、住み慣れたホームで最期を迎える事ができたこと・苦痛な状態ではなく穏やかに過ごす事ができたことに対し感謝の言葉を頂いた。
- 職員間で協力しながら対応出来たため、個人の負担も少なく、落ち着いて介護が出来た。

【意見】

- コロナ禍での看取りは思うように出来ず、ご家族の方も職員ももどかしさを感じておられたのではないかと思います。ですが制限がある中で、ご本人やご家族の方の気持ちに寄り添って対応した職員の方の努力は伝わっていると思います。
- コロナ禍での看取りは今までとは違い大変だったと思うが、入居者の方やご家族の方は慣れたホームで安心されていたのではないかと思います。
- 地域の行事も少しずつ開催を考えている。